

公表	事業所における自己評価結果
----	---------------

事業所名	木葉				公表日	2025年 2月 27日
	チェック項目	はい	いいえ	工夫している点	課題や改善すべき点	
環境・体制整備	1	利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。	7		・人数が一部屋に片寄る場合は、違う居室へ移動する。	
	2	利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。	7			
	3	生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、障害の特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。	7		・情報伝達等の配慮はなされているが、車いすの対応は難しい。 ・バリアフリーの対象者はいないが多くの情報が入らないようにしている。 ・カバン入れを作るなど見てわかるようにしている。 ・荷物置き場、検温置き場等入れ物を用意し、視覚から分かりやすくしている。	
	4	生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、こども達の活動に合わせた空間となっているか。	7		・毎日の掃除など清潔に配慮している。 ・よく使用する物は手にとりやすい位置に配置している。	
	5	必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。	7		・使用可能な部屋を複数用意し、着替えやクールダウンに使用して頂いている。 ・本人の様子や訴えに合わせて案内している。	
業務改善	6	業務改善を進めるためのPDCA サイクル（目標設定と振り返り）に、広く職員が参画しているか。	7		・話し合いの場を作り、次へと繋げている。 ・職員が考え、目標設定し、他の職員と情報共有している。	
	7	保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・ミーティングの場を設け、全体で確認し、改善案を出している。	
	8	職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。	7		・朝礼にて行っている。 ・会議等で話し合い、改善していくよう努めている。	
	9	第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。		7	・外部評価は行っていない。 ・必要に応じて対応。	
	10	職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。	7		・外部研修に参加し、内部研修に繋げたり、ミーティングにて内容を全体周知している。 ・自分で受講したい研修を伝える事もできる。	
その他	11	適切に支援プログラムが作成、公表されているか。	7		・今年度中に公表する。 ・相談し、進めている。	
	12	個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、放課後等デイサービス計画を作成しているか。	7		・本人との会話だけでなく、学校の先生から見た様子、家庭での様子もアセスメントしている。	
	13	放課後等デイサービス計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。	7		・会議へ参加し、支援者からの目線で計画を提案することもある。	
	14	放課後等デイサービス計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。	7		・いつでも計画書を見て確認できるようにしている。	
	15	こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。	7			
	16	放課後等デイサービス計画には、放課後等デイサービスガイドラインの「放課後等デイサービスの提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。	7		・地域支援、地域連携を希望されない場合もある為、相談しながら行う。	

適切な支援の提供	17	活動プログラムの立案をチームで行っているか。	7			
	18	活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。	7			・複数の職員でその都度、今の利用者に合わせているのか、マンネリ化していないか話し合い繋げている。
	19	こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせ放課後等デイサービス計画を作成し、支援が行われているか。	7			
	20	支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。	7			・朝礼、活動前等により支援内容を共有している。参加が難しい職員は業務日誌にて内容を把握している。 ・必要に応じて話し合いを行う。
	21	支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。	7			・終了後、翌日朝礼で話し合い、すり合わせている。 ・業務日誌に気づきを記入し、改善などに努めている。
	22	日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。	7			・活動記録にて行う。 ・検証、改善点の話し合いには積極的に職員が参加し行う。
	23	定期的にモニタリングを行い、放課後等デイサービス計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。	7			・6ヶ月以内、または必要に応じて見直しをしている。
	24	放課後等デイサービスガイドラインの「4つの基本活動」を複数組み合わせ支援を行っているか。	7			・必要な組み合わせで行っている。
	25	こどもが自己選択できるような支援の工夫がされている等、自己決定をする力を育てるための支援を行っているか。	7			・複数の選択肢から選択できるようにしている。 ・選択が難しい場合は、見える化し、指差しで選択することもできる。
関係機関や保護者との連携	26	障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。	7			
	27	地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。	5	2		・学校との連携は送迎の際に情報共有している。 ・医療などは関係が不十分と感じている。医療的ケアを必要、希望されていない為と思っている。
	28	学校との情報共有（年間計画・行事予定等の交換、こどもの下校時刻の確認等）、連絡調整（送迎時の対応、トラブル発生時の連絡）を適切に行っているか。	7			・都度、行っている。 ・学校との電話、紙の連絡など使用している。
	29	就学前に利用していた保育所や幼稚園、認定こども園、児童発達支援事業所等との間で情報共有と相互理解に努めているか。	7			・利用者の希望により情報を頂くこともある。 ・相談員を通して行う場合もある。
	30	学校を卒業し、放課後等デイサービスから障害福祉サービス事業所等へ移行する場合、それまでの支援内容等の情報を提供する等しているか。	7			・必要があれば行う。
	31	地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要等に応じてスーパーバイズや助言や研修を受ける機会を設けているか。	7			・支援センターでの研修に参加している。
	32	放課後児童クラブや児童館との交流や、地域の他のこどもと活動する機会があるか。	7			・散歩や公園で活動時にあいさつは行うが一緒に活動する機会は少ない。 ・希望がない為、行っていない。 ・必要に応じて対応。
	33	（自立支援）協議会等へ積極的に参加しているか。	7			・子ども部会へ定期的に参加している。
	34	日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達状況や課題について共通理解を持っているか。	7			・送迎時に話をするなど、保護者との理解を深めている。
35	家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム（ペアレント・トレーニング等）や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。	7			・家族支援時、どんなものが本人に必要なかを伝え、自宅でも行えるようにしている。	
36	運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。	7				

保護者への説明等	37	放課後等デイサービス提供を作成する際には、子どもや保護者の意思の尊重、子どもの最善の利益の優先考慮の視点を踏まえて、子どもや家族の意向を確認する機会を設けているか。	7		・契約時だけでなく、必要に応じて行っている。	
	38	「放課後等デイサービス計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から放課後等デイサービス計画の同意を得ているか。	7			
	39	家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。	7		・家族支援時や話を聞ける機会を都度設けている。 ・定期的に面談を行う。また希望に合わせて行う。	
	40	父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。		7	・希望がない為、開催していない。 ・必要に応じて対応。	・保護者同士で交流ができるよう家族支援にて場を提供できるようにしていく。
	41	子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応しているか。	7		・窓口を設置している。玄関にて掲示。 ・担当者を周知し、必要に応じて対応する。	
	42	定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報を子どもや保護者に対して発信しているか。	7		・ブログを更新している。 ・HP、SNSを活用し、土曜日活動や日々の活動をわかりやすく伝えている。	
	43	個人情報の取扱いに十分留意しているか。	7			
	44	障害のある子どもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。	7		・個々で伝わりやすい伝え方を行っている。	
	45	事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。	5	2	・地域の活動への参加経験あり。	・クリーン活動等地域での活動を増やし、事業所の支援を地域の方が知る機会を増やしていく。
非常時等の対応	46	事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。	7		・活動時に避難訓練を行う。	
	47	業務継続計画（BCP）を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。	7		・職員も参加し、定期的に避難訓練を行う。	
	48	事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等の子どもの状況を確認しているか。	7		・アセスメントシート、フェイスシートにて把握。	
	49	食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。	7		・保護者の方に確認後、配慮し提供を行っている。 ・フェイスシートや保護者との面談でアレルギー対応を確認し、対応している。	
	50	安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。	7			
	51	子どもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。	7		・緊急時、連絡先の把握。	
	52	ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。	7		・全体周知も行う。 ・定期的に振り返りを行っている。	
	53	虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。	7		・定期的に研修に参加している。	
54	どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、放課後等デイサービス計画に記載しているか。		7	・事例無し。必要に応じて対応。		